

皆さまこんにちは。
鹿沼市議会「経世会」代表の舘野裕昭です。

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で、市民の皆さまにはご不便をおかけしております。また、感染拡大予防のご協力に、心より感謝申し上げます。

一昨年9月の改選から、大貫桂一と鈴木紹平が党会派に入会し、現在は最も平均年齢の若い最大会派(5名)となっています。

さて、私達は一貫して議員定数の削減(24名→20名)人口5千人当り1名の議員が妥当であると訴え続けております。

また、小中学校でのICT教育の推進や、防災拠点としての新庁舎整備も順調に進められ、子供からお年寄りまで安心安全に住み続けられる鹿沼市を持続出来るよう、日々活発な議論を交わしております。

今後とも皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

経世会代表あいさつ



令和5年度完成予定 新庁舎完成イメージ図



◆経世会要望書◆

- 一、市道0365号線、新田橋の早期完成を図ること
- 一、武子川、行川の治水対策のため、大規模な調整池の整備を国・県へ要望すること
- 一、中山間地の自主防災会設立を推進し、防災力向上を図ること
- 一、おむつ券の配布により、子育て支援の更なる充実を図ること
- 一、中学生の自転車購入費補助を検討すること
- 一、こども医療費助成制度の対象を高校生まで早期に拡大すること

令和3年3月定例会終了後、市長に要望書を提出いたしました。各要望に対し、前向きに検討するとの回答を頂きました。



1. 新型コロナウイルスワクチンの接種体制が決まりました。

【接種券配布】65歳以上の方は4月から、16～64歳までの方も順次発送予定です。

【集団接種】常設会場は、高齢者障害者トレーニングセンター(酒野谷1004-1)で、平日夜間、土曜午後、日曜日に開設します。電話またはネットで予約して下さい。

★鹿沼市の予約相談コールセンター 電話0570-020-212 9:00～21:00(平日のみ)

【個別接種】市内の多数の医療機関にご協力いただき、個別接種を実施予定です。

ご予約は直接医療機関にお電話でお願い致します。

※個別接種医療機関一覧は、接種券とともに郵送予定です。

★新型コロナウイルス感染症関連情報は、鹿沼市のHPをご覧ください →



2. 児童生徒1人1台タブレット端末(7,235台)の配備完了!

【小中学校のICT環境整備】

3月17日現在、全ての小中学校に対し、以下の3つの事業が完了しました。

- ①「1人1台タブレット端末配備」児童生徒1人1台タブレット端末を配備
- ②「校内LAN整備」タブレット端末を接続する校内Wi-Fi環境を整備
- ③「大型モニター配備」すべての普通教室へ65型大型モニターを配備

今後は、タブレットの本格的な運用に合わせ、操作研修の実施やICT支援員により学校での運用を支援したり、学習支援ソフトである「オクリンク」を活用し様々な意見を共有して協働で検討・整理する学習、「レゴ」「MESH」を活用したプログラミング学習、インターネットを活用した調べ学習など、授業に活用していきます。



3. 令和6年度、南摩に新たな温泉施設がOpen!

【市事業】

南摩ダム関連で長年見直しが図られてきた水源地域振興拠点整備事業(旧ハーベストセンター)の基本設計が今年度策定され、現在は実施計画を行っております。

温泉施設や、農村レストラン、キャンプ場等の整備が予定されており、総事業費は18億6,500万円です。国や下流県からの支援により、本市の負担は約5億円になります。

【県事業】

水と緑の南摩の里整備事業としては、ダム湖周辺にアクティビティゾーン(湖面上のジップラインや森林アスレチック)と、森林体験ゾーン(散策路、広場等)の整備が予定されています。総事業費は15億円です。



経世会議員 一般質問内容



質問 地域公共交通(リーバス)の満足度調査と路線見直しについて伺います。



答弁 市民部長 (令和2年12月 第6回定例会)
リーバス全車両及び新鹿沼宿停留所等においてアンケートによる満足度調査を行っています。また、交通対策課に直接寄せられる利用者の声も合わせて集約し、地域公共交通協議会で協議しております。「まちなか線」から「おかいものバス」へ路線変更をしてから概ね6か月が経過する令和3年4月に利用者からの声を集約し、評価、分析を行います。不満が多い場合は路線の変更も視野に考え、利用者の利便性を図って参ります。

小島 実(4期)

住所:鹿沼市中栗野 136
TEL:0289-85-3227
FAX:0289-85-3927
環境経済常任委員会(委員長)
市民マーケティング調査特別委員会

質問 大規模自然災害の対策について伺います。



答弁 総務部長 (令和2年7月 第4回定例会)
地域防災計画に基づき、「現地災害対策本部」の設置は可能であり、避難情報の発令、警戒区域の設定、道路の通行規制、関係機関への応援要請等を行うことができます。
災害発生時において、地域ごとの現場状況を見極めることが最も重要です。ケースバイケースでスピーディな対応ができるよう、現地災害対策本部、権限移譲の体制を検討して参ります。



舘野 裕昭(3期)

住所:鹿沼市北赤塚町 52-1
TEL:0289-75-2740
mail:minami@one.bc9.jp
文教民生常任委員会
議会改革特別委員会

質問 市道0020号線及び国道293号楡木バイパスの接続時期について伺います。



答弁 都市建設部長 (令和2年9月 第5回定例会)
市道0020号線は、鹿沼環状線の交差点で楡木バイパスと接続し、下奈良部町地内で市道0363号線と接続。現在、市道0363号線と楡木バイパス接続部分の整備を実施中。主要地方道宇都宮・楡木線から、市道0363号線、国道293号楡木バイパスを経由し鹿沼環状線と南大通りが接続されるため、黒川左岸の南北軸が形成される。

市道0363号線と主要地方道宇都宮・楡木線のT字路交差点の信号機設置については、関係機関に強く要望して行く。

また、国道293号楡木バイパスの未着工区間については、大規模な公共事業となるため、現在、県において、事業計画に関する説明会を、3月に地元関係者に対して実施。

◆今後の道路整備の予定



石川 さやか(2期)

住所:鹿沼市天神町 1706
TEL:0289-63-1127
mail:saya926ka45@gmail.com
文教民生常任委員会(委員長)
市民マーケティング調査特別委員会

質問 男女共同参画の視点から防災・復興ガイドラインについて伺います。



答弁 総務部長・市民部長 (令和2年9月 第5回定例会)
現在、災害対策本部構成員と危機管理担当部局の女性職員は0人、地域防災会議の女性委員は37名中1人です。今後、災害対応に携わる女性の比率の増加に努めるとともに、子育て・介護中の職員への支援を検討してまいります。また、避難所での性被害の防止については、防犯ブザーの設置や、啓発ポスターの掲示を進めて参ります。

質問 コロナ禍で推奨されている分散避難について、指定避難場所の現状と課題を伺います。



答弁 総務部長 (令和2年9月 第5回定例会)
民間企業との協定や民間施設の活用としては、県内ホテル等289か所、市内福祉施設11か所、コンテナホテル等との防災協定を結んでおります。また、在宅避難者に対しても避難者名簿を作成し、支援物資の配布や情報提供を行って参ります。



質問 鹿沼駅自転車駐輪場の放置自転車処分状況と、未成年の喫煙や迷惑行為について、駅周辺の治安維持について伺います。



答弁 市民部長 (令和2年12月 第6回定例会)
放置自転車のリサイクル販売はコストや人材の面で16年度に廃止されましたが、昨年9月よりNPO法人「ぼうめらん」でごみとして出された程度の良い自転車を修理せず販売しています。今後、放置自転車のリユース販売を進めて参ります。駅周辺の治安維持に関しては、引き続き警察や学校と連携し、関係者による会議での情報共有に努め、青少年の早期指導にあたります。



大貫 桂一(1期)

住所:鹿沼市加園 1026-1
TEL:0289-64-1172
mail:tharuayu0609@yahoo.co.jp
総務常任委員会
議会改革特別委員会

質問 林業の担い手育成支援について伺います。



答弁 経済部長 (令和2年3月 第2回定例会)
造林や伐採を行う労働者を継続的に確保できるような支援が必要で、令和2年度は、団体や個人に対し、林業に必要な安全教育の受講や労働安全に必要な装備・機械等の購入に補助を行う考えです。また、次世代の担い手育成として、就職説明会の開催、インターンシップやマイチャレンジへの受け入れを推進して参ります。

質問 思川開発事業のうち、南摩ダムの洪水調整能力と、河川堆積土砂の骨材利用について伺います。



答弁 総務部長 (令和2年3月 第2回定例会)
洪水調整容量は最大500万m³(400mm雨)です。令和元年東日本台風(397mm)と同等の雨量の際には、数字上全て飲み込める形です。河川堆積土砂については、H25より主に大芦川から5万m³受け入れており、残り7万m³受け入れ可能です。

質問 川遊びの増加に伴う諸問題(路上駐車、騒音、不法投棄等)について伺います。



答弁 佐藤市長・経済部長 (令和2年9月 第5回定例会)
河川利用の規制はできませんが、河川敷でのバーベキューや花火は、警察と協議の上罰則を伴う禁止条例を制定することも可能です。諸問題につきましては、今後地域の意向を調査し前向きに検討してまいります。 ※令和2年11月に大芦川創生プロジェクトが発足しました。



鈴木 紹平(1期)

住所:鹿沼市口栗野 962-1
TEL:0289-78-5784
mail:s.shohei148@outlook.jp
建設水道常任委員会
市民マーケティング調査特別委員会

質問 リーバス・デマンドバスの利用促進策について伺います。



答弁 市民部長 (令和元年12月 第6回定例会)
各地域の高齢者サロン等での出前講座の開催や体験乗車会の実施などにより周知を図っています。また、新たな「バス利用ガイドマップ」を作成するとともに予約方法や乗り方の紹介動画も製作中です。さらに、全ての年代における利用と本市来訪者への利便性を高めるため、スマートフォン等による乗り換え検索に向け、その作業も進めているところです。市民ニーズの把握については、運行会社からのご意見箱といったようなものを設置することとします。

質問 ヘルプマークについて伺います。



答弁 保健福祉部長 (令和2年3月 第2回定例会)
平成29年8月から令和2年1月末までに276個を障害福祉課及び各コミュニティセンターの窓口15か所で配布しました。今後も配慮する側の多くの市民の方にヘルプマークを正しく理解していただくため、市の広報誌やホームページ、チラシやポスターなどを活用し、県と協力しながら普及啓発に努めていきます。

質問 ドライブレコーダーの推進について伺います。



答弁 市民部長 (令和2年9月 第5回定例会)
ドライブレコーダーの普及に伴い、交通事故や危険運転などの犯罪が発生した際、録画映像が真相究明に役立つケースが増えてきています。市としてもドライブレコーダーを防犯カメラととらえ映像の提供を始め録画していることのPRにより、犯罪抑止や危険事態の防止など活用の範囲は広いと考えています。市民向けにドライブレコーダー購入の補助を行っている自治体もあり、本市の補助制度導入については実施自治体の状況を見極めていきたいと考えております。

